施策マネジメントシート ～令和5年度の振り返りから令和6年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ぎょうせい分野	担当課	財産監理課				
	政策分野	行政運営・市民協働		課長名	長野望			
	施策	23 財産の有効活用		重点施策の該当	R5	-	R6	-
施策の目的	対象	市有財産及び公共施設		意図	適正に管理し、有効に活用する			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標
公共施設(建築系施設)の床面積削減割合(%)	0.1	△ 0.9	0.7	0.3 (0.7)	(0.7)	(0.7)
インフラ系施設の更新費用削減割合(%)	47.6	52.4	47.6	- (44.4)	(44.4)	(44.4)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
81.2	12.2	82.6	15.8	83.1	11.6				
重要度DI	満足度DI								
79.4	-21.3	81.0	-15.8	82.4	-27.2				

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度目標	7年度目標
公共施設等総合管理計画の推進	8-21	公共施設(建築系施設)の床面積削減割合(%)	0.1	△ 0.9	0.7	0.3 (0.7)	(0.7)	(0.7)
公共施設等総合管理計画の推進		インフラ系施設の更新費用削減割合(%)	47.6	52.4	47.6	- (44.4)	(44.4)	(44.4)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
成果	普通財産の払下げや貸付けは積極的に行われ、貴重な財源として有効に活用されている。
現状・課題	現状としては、固定資産台帳の整備が決算年度の翌年度後半までかかり、固定資産台帳データから得られる財務諸表や財務分析が決算年度の翌年度末となっている。固定資産台帳の整備による財務分析が可能となってきているが、固定資産台帳の年度更新に大半の時間を要しており、財務分析による公共施設マネジメントというよりは、財政的な制約による事業費調整や財産貸付などによる財産活用が主なものとなっている。 公共施設マネジメントを本格的に行う上でも、施設の状態を把握しやすい施設カルテ等の構築を検討する必要がある。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
継続・現状維持	公共施設マネジメントを本格的に行う上でも、引き続き施設カルテ等の構築を進めるが、時間を要する面がある為、固定資産減価償却率の分析・判定による施設類型を重点的に整備するなどの検討を進めたい。 また、公共施設維持管理基金の計画的な運用により、公有財産管理事業において大規模修繕、解体を計画的に進められるような仕組みを検討したい。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	【総務企画部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。